

質問番号	資料名	ページ	質問内容	回答
No.1	仕様書	13	保存文書のスキャンングについて、「スキャンングしたデータ（電子文書）を本システムに格納する」と記載がありますが、電子文書の登録は職員による手動登録（スキャン後に本システムへアップロード）を想定しているとの理解でよいでしょうか。 また、複合機やスキャナとの自動連携（スキャンデータの自動取込等）を想定している場合は、その要件および対象機器型番をご教示ください。	電子文書の登録は職員による手動登録を想定していますが『エ 電子文書のシステム管理』による運用が可能な環境を構築する前提となります。
No.2	仕様書	13	⑤ 次に掲げる操作履歴を保存し簡易に確認および印刷できるようにする。1. 電子文書の検索とは、③ 保存した電子文書は、当該電子文書固有のタグにより検索できるようにする。と同様の仕様との理解でよいでしょうか。	⑤は操作履歴について、③は電子文書の検索について記載しておりますので同様の仕様ではありません。
No.3	仕様書	11	システム構成図では、サイネージAPIおよびWebアプリの接続経路として「HTTPS+mTLS」と記載されています。 一方で、表示機器および業務モニタは案内表示系（サイネージAPI）へ接続し、事業者デバイスおよび職員(A)(B)PCはWebアプリへ接続する構成と理解しております。 HTTPS+mTLSの対象は、サイネージAPIへ接続する表示機器および業務モニタ等の表示系通信のみを対象とし、Webアプリへ接続する事業者デバイスおよび職員(A)(B)PCについては通常のHTTPS通信を想定しているとの理解でよいでしょうか。 異なる場合は、mTLSの対象となる接続先および利用端末、ならびにクライアント証明書の配布、更新、失効管理等の運用要件をご教示ください。	お見込みの通りです。
No.4	仕様書	P10	4.2 本システム構築の基本方針 (5) 文書管理システムについては、本システムの一機能として新規開発する方式に限定されず、要件を満たす既存製品やサービスを活用した構成も可能との理解でよいでしょうか。	文書管理システムについては新規開発に限定するものではありませんが、一方で『4.2 本システム構築の基本方針 (5)』に反する提案は認められません。
No.5	仕様書	P12	4.4 本システム (1) mTLSでの通信は、なりすまし防止が目的だと理解しています。その場合、操作・運用性を考慮し二段階認証やソースIPアドレス制限を利用することで代替することは可能でしょうか。	表示機器は来客エリアに設置する都合上、固定IPではセキュリティ上の懸念があり、二段階認証は機器の配置点数から運用上の負荷が高くなると想定しています。そのため、クライアント単体でセキュリティが十分担保されるmTLS通信のみを認めます。
No.6	仕様書	P20	5.3 保守管理業務共通事項 (3) イ 年1回の定期点検は、平日日中帯にご訪問しての作業を想定してよろしいでしょうか。また、施設の計画停電時の対応も必要でしょうか。	年1回の定期点検は、東山斎場及び北斎場が年に1回行う全館停電検査日を想定しています。各斎場の全館停電日及び翌日に作業の実施を想定しています。
No.7	15-1仕様書【別紙1】 岡山市営斎場運営支援システム基本設計書	P7	帳票の出力方式について、集計表類はExcelで、その他出力時に編集不要な帳票はPDFでよいでしょうか。	構いません。
No.8	15-2仕様書【別紙1】 岡山市営斎場運営支援システム基本設計書	P34	3.7 外字の利用 外字ソフトを利用されるとのことですがソフト名と、外字の入力が必要な端末の台数をご教示ください。	ソフト名『人名外字』、必要台数は5台程度を想定しています。
No.9	14 仕様書	P12	4.9.(4)文書管理システム関係 文書管理システムをご利用になられるユーザー数をご教示いただきたいです。	10名程度を想定しております。

質問番号	資料名	ページ	質問内容	回答
No.10	02入札説明書	3	10 契約保証金について 保証の方法の中で①を選択した場合について、 納めた保証金は履行完了後に返還いただける認識ですが、返還される時期は下記のどちらでしょうか。 ・システム構築完了時（令和9年8月31日予定） ・保守管理完了後の契約期間満了時（令和14年8月31日）	契約書第3条にあるとおり令和14年8月31日以降です。
No.11	14 仕様書	P15	5.2. 保守管理の業務範囲 ※ 委託者が調達した機器の修理・交換等に係る作業および費用は本業務委託の対象とする。とありますが、機器修理交換後に必要な設定作業を受託者が対応するとの理解でよいでしょうか。	お見込みのとおりです。
No.12	14 仕様書	P20	5.2 保守管理の業務範囲（１）、（３）は受託者が用意した機器が対象となる認識でよいでしょうか。	お見込みのとおりです。
No.13	14 仕様書	P23	5.10 サービスレベル管理 (4)半年ごとのSLA報告会はリモートでの開催でも問題ありませんでしょうか。	問題ありません。